



2005年度 決算説明資料



2006年5月23日(火)

日本テレビ放送網株式会社



目次

決算概要	P 3
単体損益計算書.....	P 6
スポットセールス業種別シェア	P 7
業績予想	P 8
参考資料：設備投資額と減価償却費予想.....	P 10
番組編成	P 11
文化事業関連	P 14





連結損益計算書 ハイライト

- 日本テレビ本体の減収・減益が影響。
- 子会社バップは、昨年好調だった韓国ドラマDVD売上が大幅減少したものの、日本テレビ制作ドラマや映画のDVD、トイズファクトリーのCD等の売上増加結果、微減収。

(単位:百万円未満切捨)

	2004年度	2005年度	伸率
売上高	357,614	346,642	△ 3.1%
営業利益	34,325	28,551	△16.8 %
経常利益	35,591	30,014	△15.7 %
当期純利益	16,847	13,700	△18.7 %





連結キャッシュ・フロー状況

(単位:百万円未満切捨)

	2004年度	2005年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,286	32,683	△16,603
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 23,046	△ 24,358	△ 1,311
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 37,275	△ 15,920	21,355
現金及び現金同等物期末残高	66,877	59,368	△ 7,509

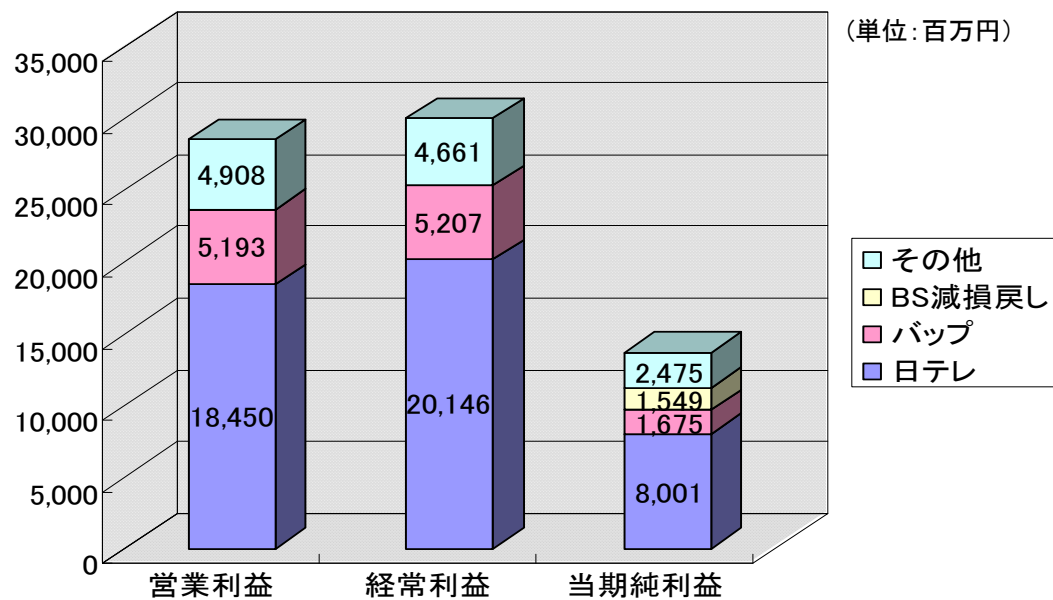
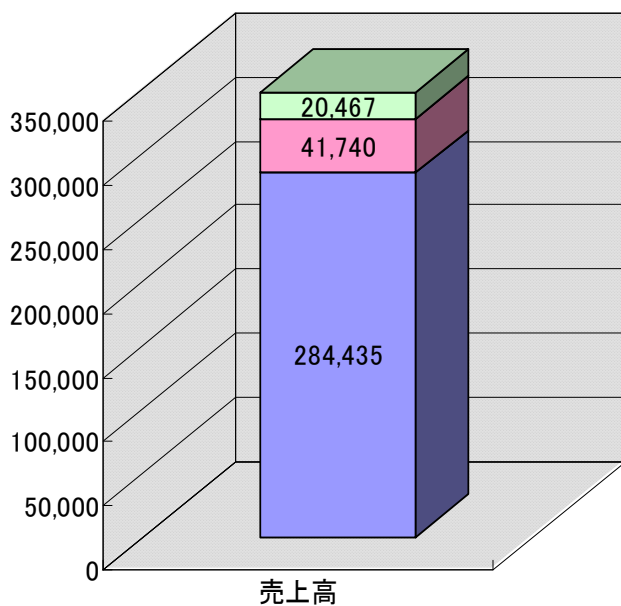




連結・単体比較

(単位: 百万円未満切捨)

	連結	単体	連単差
売上高	346,642	287,829	58,813
営業利益	28,551	18,450	10,101
経常利益	30,014	20,146	9,868
当期純利益	13,700	8,001	5,699



*日テレ、バップの数値は、売上は連結上の調整後の数値を、利益については単体実績数値を使用しています。
 また、バップの当期純利益については、外部株主持分を控除しています。





単体損益計算書 ハイライト

- 放送収入(タイム、スポット)が減収。
- 番組制作費は前年比微増となったものの、効率化を図り当初予算を下回った。
- 投資有価証券評価損(J-SAT、BS日本など)64億円を特別損失に計上。

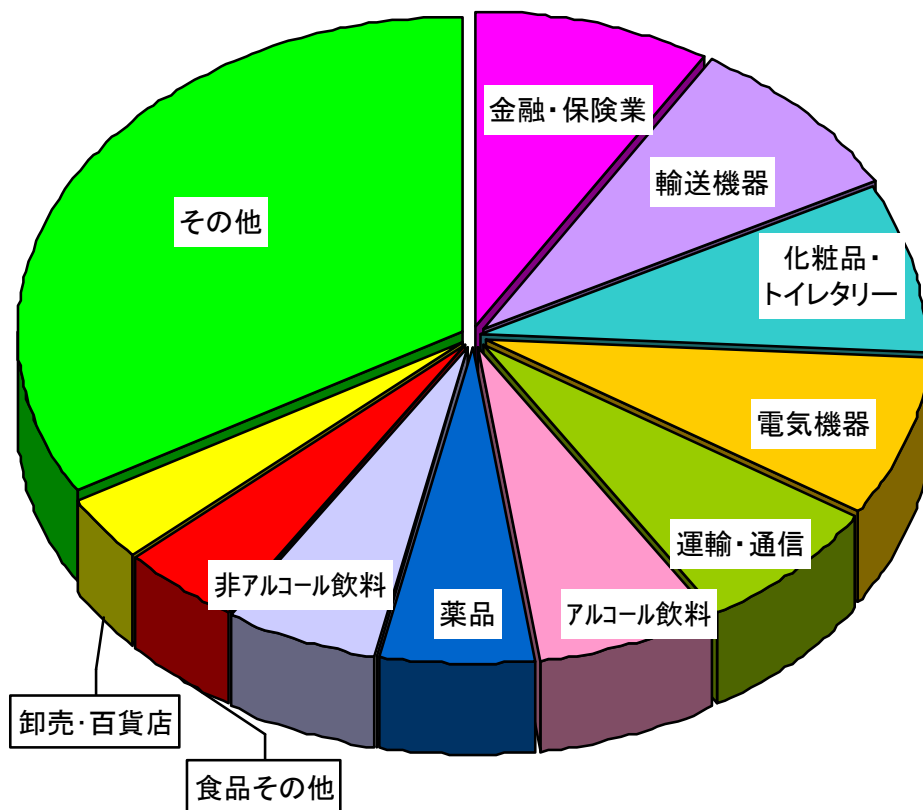
(単位:百万円未満切捨)

	2004年度	2005年度	伸率
売上高	297,079	287,829	△ 3.1%
営業利益	23,913	18,450	△22.8%
経常利益	25,370	20,146	△20.6%
当期純利益	12,536	8,001	△36.2%





スポット業種別シェア



(%)

	シェア	伸率
金融・保険業	8.65	9.9
輸送機器	8.55	△ 2.6
化粧品・トイレタリー	8.50	1.2
電気機器	8.39	15.3
運輸・通信	7.03	△ 18.7
アルコール飲料	6.55	△ 12.5
薬品	5.59	△ 10.9
非アルコール飲料	5.52	△ 7.8
食品その他	4.51	2.0
卸売・百貨店	3.46	△ 11.8
その他	33.25	△ 9.3





業績予想

(単位:百万円)

2006年度 中間期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	161,500	7,000	8,000	4,300
単体	140,000	3,500	4,000	2,500

(単位:百万円)

2006年度 通期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	333,000	20,500	22,000	12,500
単体	285,000	14,000	15,000	8,500





セグメント別業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業費用	営業利益
テレビ放送事業	272,200	240,900	31,300
文化事業	55,000	53,100	1,900
その他の事業	14,100	13,100	1,000
合計	341,300	307,100	34,200
消去又は全社	△ 8,300	5,400	△ 13,700
連結	333,000	312,500	20,500





参考資料：設備投資額と減価償却費予想

(連結ベース)

(単位：億円)

	設備投資予想	減価償却費予想
2006年度	76	152

(単体ベース)

(単位：億円)

	設備投資予想	減価償却費予想
2006年度	71	143
2007年度	95	135
2008年度	77	125
2009年度	59	109
2010年度	80	102





番組編成

4月改編の総括

朝帯ベルト番組の強化

- 「ズームイン!!SUPER」・・・1部放送開始時間を繰上げた効果が顕著に。
* 1部・2部とも、世帯視聴率・コアターゲット視聴率がアップ。
- 「スッキリ!!」・・・前番組「情報ツウ」に比べ世帯視聴率は若干下降も若い層は微増。
* 朝帯の視聴習慣をつけるため長期的目線で企画強化作業中。
- 「ラジかるっ!!」・・・枠内で放送している「ポシュレ」コーナーで通販売上が大幅増加。

G・P帯の新番組

- バラエティ3番組・・・「芸恋リアル」「太田光の私が総理大臣になったら・・・秘書田中」「シャル・ウェイ・ダンス？」は特番での実績の視聴率にいたっていない。
→内容・企画強化とPR強化で定着を狙う。
- ドラマ2番組・・・「プリマダム」(水曜)と「ギャルサー」(土曜)はそれぞれ狙ったターゲットに訴求し、まずまずの視聴率実績。
土曜ドラマは、子供・ティーン層から絶大な支持
→枠イメージの定着に成功。





今後の編成戦略

7月改編

- 木曜20時「くりいむしちゅーのたりらりていきます!!」
* 23時台で話題になった番組のプライムタイム・レギュラー化。
- 水曜ドラマ「CAとお呼びっ!」、土曜ドラマ「マイ・ボス マイ・ヒーロー」
* それぞれの枠のメインターゲットを確実に狙った話題作。

トータル視聴率と日本テレビのプレゼンスアップ

- 視聴環境の変化に合わせて、レギュラー拡大など特番を編成。
* 5月第2週は、サッカー中継やレギュラー拡大編成でG・P帯1位獲得。
* 夏休みや24時間テレビ週などでも戦略編成予定。

スポーツコンテンツ

- 野球中継のPR強化。
- TOYOTAプレゼンツFIFAクラブワールドカップ、レスリング世界選手権、世界女子マッチプレーゴルフなど世界を意識した放送。

デジタル対応戦略

- スポーツ中継やドラマなどで、データ放送、ワンセグ・データ放送実施。





参考資料: 視聴率動向

年間平均視聴率

(2006年1月2日 - 2006年5月14日 / 19週間)

出所: ビデオリサーチ

	NTV	TBS	CX	EX	TX	HUT
全日	9.1	8.2	9.7	7.9	3.8	45.3
昨年同期	9.2	7.7	9.5	8.1	3.8	45.3
プライム	13.5	13.0	14.8	13.1	7.8	67.3
昨年同期	13.7	13.0	14.1	13.1	7.6	67.8
ゴールデン	13.5	13.1	14.6	12.3	8.2	68.1
昨年同期	13.7	12.9	14.0	12.6	8.2	69.0
ノンプライム	7.9	6.8	8.2	6.5	2.7	39.0
昨年同期	8.0	6.2	8.2	6.7	2.7	38.8





文化事業関連

映画事業（今年度の主なラインナップ）

- 「DEATH NOTE」6月(前編)・10月(後編)連続公開予定。日本テレビ幹事作品。
- 「ゲド戦記」スタジオジブリ作品(宮崎吾朗監督) 7月公開予定。
- 「花田少年史 幽霊と秘密のトンネル」8月公開予定。日本テレビ共同幹事作品。

ライツ事業(DVD・ビデオ化)

- 「ALWAYS 三丁目の夕日」映画の大ヒットに続き、6月にVAPからビデオ・DVD発売予定。
- 「野ブタ。をプロデュース」(4/5発売開始)が好調な売行き。
現在放送中のドラマ「ギャルサー」、「プリマダム」は9月発売予定。
- アニメ「NANA」「桜欄高校ホスト部」も7月に第1巻発売予定。

通販事業

- 4月より「ラジかるッ!!」(月~金)で「ラジかるッ×ポシュレ」通販コーナー放送中。売上好調。
- 深夜にも「ポシュレデパート深夜店」(週5回放送)など放送を通じて、積極展開中。
- インターネット、モバイルショッピング 日テレ屋WEBも好調。

イベント事業

- 昨年度成功のルーヴル美術館展に続き、プラド美術館展(3/25~6/30)、
ルーヴル美術館展(6/17~8/20)、大エルミタージュ美術館展(10/19~12/24)開催。

